

「PF ニュース」からのお知らせ

平成 24 年度からの PF-UA の発足に伴い、PF ニュースはウェブが主体となりましたが、引き続きご愛読を賜り感謝致します。今後も新しい企画記事の連載など誌面の充実につとめ、PF ニュースをより魅力あるものにしていきます。PF ニュースウェブページには、冊子版では白黒となっている図等もオリジナルのカラーのものを掲載しています。ウェブ版もお楽しみ頂ければと思います。

ウェブ掲載時にはメールでお知らせするシステムも運用しています。希望される方は、どうぞ登録下さい。PF ニュースウェブページにフォームを掲載しています（※ KEK の共同利用者支援システムでユーザー登録をされた皆様には、PF メルマガが配信され、そちらにも PF News 発行のお知らせが載りますので、その方はお知らせメールの登録は必要ありません）。

PF ニュース編集委員一同

投稿のお願い

【最近の研究から】

PF で行われた実験、研究の成果をお寄せ下さい。

【建設・改造ビームラインを使って】

特にビームラインの改良点、他のビームラインとの比較、要望等を是非お聞かせ下さい。

【ユーザーとスタッフの広場】

PF での実験の成果等が認められ受賞された方、海外放射光施設に滞在、訪問された方、国際会議等に参加された方、修士論文等、どうぞ投稿下さい。また PF に対するご意見等がありましたら是非ご投書下さい。

詳細は事務局または PF ニュース HP をご覧下さい。

宛 先

〒 305-0801 茨城県つくば市大穂 1-1
高エネルギー加速器研究機構
物質構造科学研究所 放射光科学研究施設内
PF ニュース編集委員会事務局
TEL : 029-864-5196 FAX : 029-864-3202
E-mail : pf-news@pfqst.kek.jp
URL : <http://pfwww.kek.jp/publications/pfnews/>

編集後記

編集委員を務めて 2 年目を迎えました。PF には学生時代から訪れており、当時は宿舍とビームラインの往復のみで、実験が終われば疲労から早々に PF をあとにしたと記憶しております。学位を取得し、研究室のスタッフになってもそのスタイルは変わりませんでした。したがって、ほぼ実験でしか訪れる機会がなかった高エネ研に、編集委員として初めて訪れた時は多少なりとも違和感がありました。

放射光実験はその規模から常に運営費との戦いであり、さらに近年は震災も影響して、全ての研究者に十分なビームタイムを配分することが難しくなっているかもしれません。その一方で放射光施設は最先端の研究の場としてだけでなく、多くの学生にとって一人前の研究者になる、いわば研究・教育の場としても重要な役割を担っています。そういった意味でも、同年代の学生が PF でどのような実験に取り組み、どういった生活を送っているかを学生自身の言葉で発信している『PF 滞在記』は、放射光研究の裾野を広げる重要な取り組みだと思います。編集会議では機構内外の委員に係わらず、どうしたら興味を持ってもらえるかを、読者の側に立って活発に議論されています。こうした活動を停滞させないよう微力ながら残りの任期を全うしたいと思います。(K. N)

平成 29 年度 PF ニュース編集委員

委員長	野澤 俊介	物質構造科学研究所
副委員長	阿部 善也	東京理科大学理学部第一部
委員	足立 純一	物質構造科学研究所
	上村 洋平	分子科学研究所
	大川万里生	東京理科大学理学部
	田中 宏和	物質構造科学研究所
	丹羽 健	名古屋大学大学院工学研究科
	前川 雅樹	量子科学技術研究開発機構
	簗原 誠人	物質構造科学研究所
事務局	高橋 良美	物質構造科学研究所

阿達 正浩	加速器研究施設
宇佐美德子	物質構造科学研究所
川崎 政人	物質構造科学研究所
土井 教史	新日鐵住金(株)先端技術研究所
兵藤 一行	物質構造科学研究所
水谷 健二	横浜市立大学生命医科学研究科
三輪 洋平	岐阜大学工学部